

青年部 第3回日独ボードゲーム会・懇親会 報告

2016年1月17日 青年部副部長 緒方 愛実

主催：西日本日独協会・青年部

日時：2016年1月10日(日)

ゲーム会 16:00～18:00、懇親会 18:00～20:00

場所：ドイツ料理レストラン「シュタット マインツ」("Zur Stadt Mainz") 福岡市薬院

会費：ゲーム会 500円

懇親会 2,000円+各自飲み物注文

進行：青年部副部長 平松 智久、青年部副部長 緒方 愛実

参加者：ゲーム会：合計21名

大人 13名 (内ドイツ人 2名)、子ども8名 (内、ドイツ人2名、3歳以下1名)

懇親会：合計17名

大人 11名 (内ドイツ人 2名)、子ども6名 (内、ドイツ人2名、3歳以下1名)

新年会の意味もこめ、2016年1月、青年部催し「日独ボードゲーム会・懇親会(Stammtisch)」を開催しました。新春はじめの忙しく、そして寒い時期に、県外からのご参加、ご家族での自転車での参加がありました。今回は、参加者の半数がお子さんで、はじめはみんなもじもじとしていたのですが、遊んでいる内にあっという間に仲良くなりました。

今回、ゲームマスター(ゲームの遊び方説明・進行をする役割)が青年部役員1名のみ、撮影・進行1名で行いました。また、小学生以下のおさんは長時間同じゲームで遊び続けることができないようで、短時間で終わるゲームを複数行うことになりました。そのため、はじめは3グループの中を役員がゲーム説明のために交互に回らなければなりません。中盤には、大人の参加者さんがゲーム説明をしてくださいましたので、役員も安心して一緒に輪の中に入れて遊ばせていただきました。

幼いお子さんや日本語が不得手なドイツの方には、言葉を使わず、絵や記号などを豊富に使った視覚的に遊べるゲームが参加しやすいようでした。また今後は、幼いお子さんに対応できるよう、わかりやすく、回転の速いゲームが複数必要になることを痛感いたしました。会の中で、お子さんからトランプも使えるゲームで遊びたい、との声も上がりましたので、次回は簡単な日本のトランプゲームでも遊べたらと思います。

懇親会(Stammtisch)では、お子様のお世話や人数の関係で、一つのテーブルにドイツの

方が集まってしまったので、次回は混合でドイツの方と交流をはかれるようにしたいと思います。

今回は女性参加者同士の懇親が深く行われた様で、今後の催しや会員同士の交流についてなど活発な意見交換が行われました。後日より詳細なご提案もいただき大変ありがたく感じました。今後、青年部役員会議でご提案にそえるよう検討を重ねたいと思います。

シュタットマインツ様に、幼いお子さんのためにお子さん用プレートのご対応をいただきました。今回も、多彩なドイツ料理を提供いただき、皆さん満足・満腹いただけました様で、アンケートでも高評価いただけました。中には、「本場よりおいしかった。」との声もいただきました。女性参加者が大多数のため、話に花が咲いてしまい、食事の進行具合が遅かった様に感じました。女性だけのテーブルではコース料理の完食が難しかったようです。今後は各テーブルに均一に男性、食欲旺盛な方の配置を検討する必要があるようです。男性参加者が少数だったので、次回はより男性の参加促進を活発にしたいと考えます。

今回も子供たちという期待の次世代の参加、協会会員以外の方の参加があり、ゆっくりとではありますが、日独の輪が広がりつつあるように感じました。

次回は催しの多様性を考え、ゲームとは違ったテーマ(ミニドイツ語教室など)を主題にしたいと考えております。